

2022年度 第35回 三重県ジュニアユース (U-14) トレセンサッカー大会 結果

Aリーグ

	伊賀	鈴亀	東紀州	
伊賀		○ 1 - 0	× 1 - 2	2
鈴亀	× 0 - 1		× 0 - 2	3
東紀州	○ 2 - 1	○ 2 - 0		1

Bリーグ

	県U-13	三泗	南勢	
県U-13		× 0 - 1	○ 1 - 0	2
三泗	○ 1 - 0		△ 0 - 0	1
南勢	× 0 - 1	△ 0 - 0		3

Cリーグ

	津	桑員	松阪	
津		× 0 - 3	○ 2 - 1	3
桑員	○ 3 - 0		× 1 - 2	1
松阪	× 1 - 2	○ 2 - 1		2

※得失点差によるもの

1位リーグ

	東紀州	三泗	桑員	
東紀州		× 0 - 1	○ 1 - 0	2
三泗	○ 1 - 0		○ 2 - 1	1
桑員	× 0 - 1	× 1 - 2		3

2位リーグ

	伊賀	県U-13	松阪	
伊賀		× 0 - 1	△ 1 - 1	3
県U-13	○ 1 - 0		× 0 - 1	2
松阪	△ 1 - 1	○ 1 - 0		1

3位リーグ

	鈴亀	南勢	津	
鈴亀		△ 0 - 0	○ 2 - 1	2
南勢	△ 0 - 0		○ 2 - 0	1
津	× 1 - 2	× 0 - 2		3

<最終順位>

優勝：三泗地区トレセン

準優勝：東紀州地区トレセン

3位：桑員地区トレセン

「樋口FAコーチ総評」

選手にとっても指導者にとっても非常に有意義な大会であることを感じた。選手達は普段とは違い、各地区のレベルの高い、タイプの違う選手達と戦う経験ができ、また、指導者は試合を分析して選手に伝え、また試合に臨むという、マッチ→ミーティング→マッチという作業を通じて指導者として成長する機会があった。また、それぞれの地区の特徴が表れていて非常に面白い大会でもあり、例えば1位リーグに上がってきた3チームは、オーソドックスで個人の良さを活かしたサッカーの三泗地区、攻守の切り替えとインテンシティの高さでひたむきで魂のある東紀州地区、ボールを大切に主権を握りポジションにこだわった桑員地区、とそれぞれタイプの違うチームが勝負のこだわり、切磋琢磨するという環境があった。ただ、U14東海TC大会からの逆算で考えると、やはりインテンシティの低さが東海との大きな差であると考えられる。緩い空間であればある程度プレーできても、少しでも時間と空間を制限されると何もできない！とにかく日常の練習から攻守の切り替えや1対1のバトルなど、厳しい環境を作り出していくことが必要。高いスキルベースやオフの準備、また、原理原則の理解が無ければ通用しないということを認識させたい。教えるというよりは、厳しい環境下で高いパフォーマンスを発揮するために必要なことを自分で意識できるようになることが大切で、そうすれば子供達は自然に適応していく。U14という年代は大人のサッカーへの入り口である。